



青森県内で働く魅力などを伝えた「あおりなでしこ」による講話

県内就職の 魅力伝える

「あおりなでしこ」が
八学大生に向けて講話

青森県は20日、女子学生の県内就職を促進する、女子就活・定着サポーターズ「あおりなでしこ」による講話を八戸学院大(水野眞佐夫学長)で開いた。受講した同大人間健康学科の3年生約90人が、県内で働く魅力や仕事とプライベートを両立させるコツなどを学んだ。

あおりなでしことして活動する青森社会福祉振興団(むつ市)の加藤幸恵さん(38)、青森

レコードマネジメントサービス(六ヶ所村)の蛭名真中さん(35)が講師を務めた。

2人は、自身の職場環境や仕事のやりがい、子育てしながらの働き方などをそれぞれ紹介。県内就職の魅力について加藤さんは「親や友人など頼れる存在が近くにいると安心して働ける」、蛭名さんは「通勤時間が短く通勤のストレスがゼロ。子育てがしやすい環境もある」などと伝えた。

県内就職を考えているという同科3年の秋山あぐりさん(20)は「どこに視点を置いて就職先を探すか、考えるきっかけになった」と話した。(松橋瑠偉)